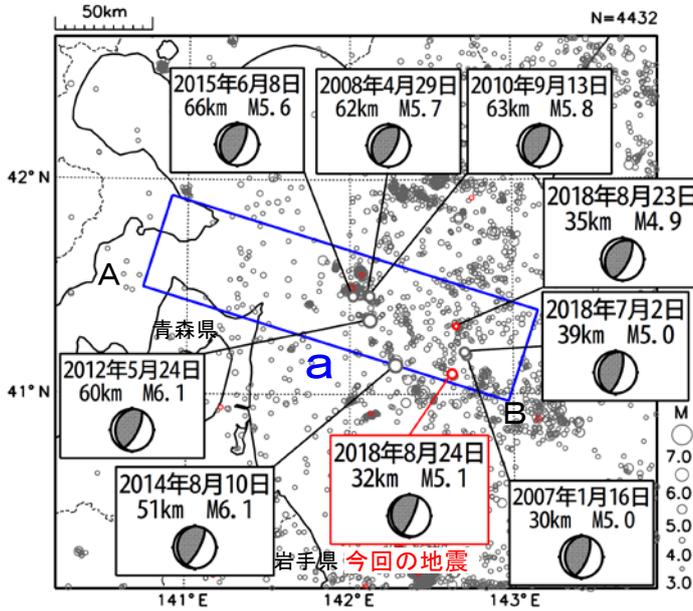


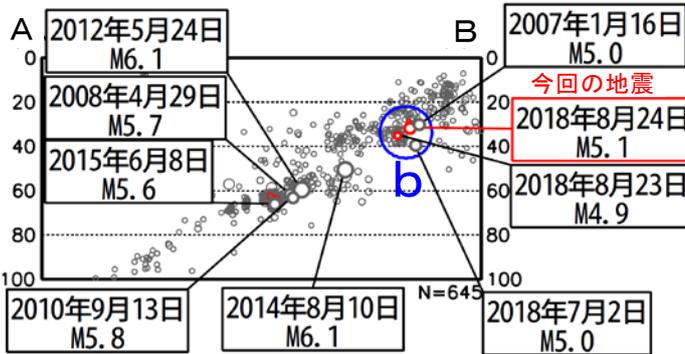
8月24日 青森県東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2018年8月に発生した地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解

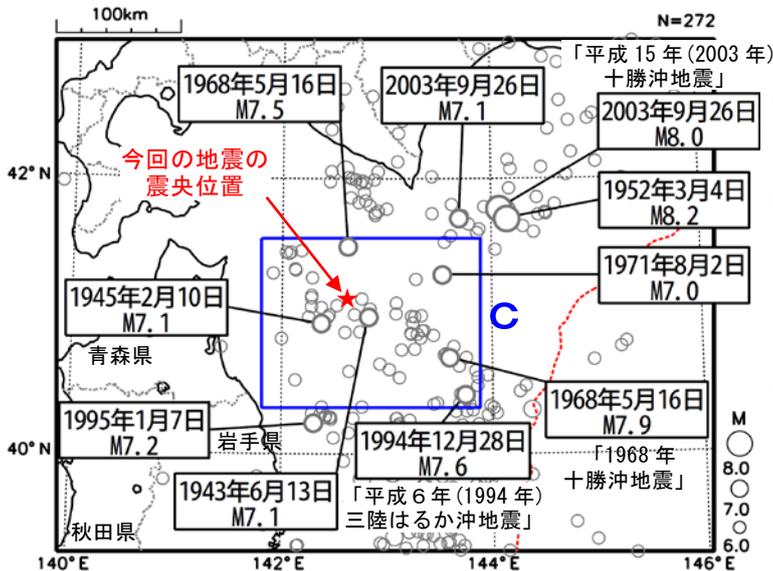


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

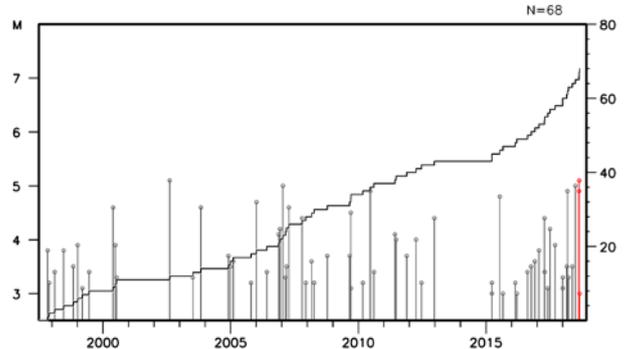


2018年8月24日23時15分に青森県東方沖の深さ32kmでM5.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2007年1月16日にM5.0(最大震度2)の地震が発生するなど、M4.0以上の地震が時々発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)により、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟等の被害が生じる(被害は「日本被害地震総覧」による)など、M7.0以上の地震が6回発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

